



【自主 敬愛 勇健】 ～生徒が自信をもって生き生きと活動する学校～

<第 57 回秋桜祭の様子から②> ～一人一人の色が様々な場面で輝いていました～

(前号からの続きです)

■吹奏楽部の演奏は、サントミュージゼで行われた交換演奏会でも聴いており、迫力のある演奏が今でも耳に残っています。秋桜祭前日のリハーサルでの演奏も聴きましたが、当日の演奏はリハーサル演奏を超えた素敵な楽器の音色が体育館に響き渡り、私たちに大きな感動を与えてくれました。吹奏楽部はマーチング大会にも出場するので、そのための練習と重なり、大変忙しかったと思いますが、それを感じさせない素晴らしい演奏でした。吹奏楽部員の全員が今までの自分を越えることができていたと思います。ありがとうございました。



吹奏楽部の発表

※アンコールでのゲームのテーマ曲は、ゲームをクリアできずに何度も挑戦していた自分の姿を思い出しながら聴いていました。また、挑戦したくなってしまうしました。

■ステージ発表は、2日に分けて行いました。出演してくれた皆さんの学習の成果や今までの努力の成果がとてもよく表れていました。緊張していたと思いますが、それを乗り越えて堂々と発表する皆さんの姿が深く印象に残っています。スピーチにおいては、和文での発表も英文での発表も、5名の皆さんの伝えたいことがよく伝わってきました。内容が良かったです。福祉委員会ではクイズを交えての発表でしたが、参観している小学生にも正解できるクイズにしたことは、さすがだなと思いました。小学生にも楽しんでもらうというねらいは達成できたと思います。今年度の有志の皆さんの発表はすべてダンスでしたが、まるで高校生の「ダンス選手権」で発表のように、ハイレベルの演技を鑑賞させてもらいました。時間的な制限はありますが、有志の皆さんの発表がもう少し多くあればいいなと思いました。また、小学生にも北中生の演技を見せたかったと思います。優れた特技をもっている人はもっと多くいるはずで、人前で披露することで、自信がつき、特技にも磨きがかかると思います。ステージ発表で秋桜祭を盛り上げてくれた皆さん、ありがとうございました。



福祉委員会の発表



スピーチ発表



有志のダンス

■学級・学年の展示作品やコスモス大学の展示作品からは、作者である生徒皆さんの確かな学習の足跡と作品に込めた思いが伝わってきました。それぞれの展示作品には優劣をつけることはできませんが、「展示作品優秀賞」をあげたいと思う作品がたくさんありました。どの展示作品も、鑑賞しやすいような掲示と配置がされていて、相手のことをよく配慮してくれているなど感心しました。北中生の魅力の一つだと思います。努力して完成させた作品は、自分の宝物になりますので、大切に保管してほしいと思います。皆さん、ありがとうございました。



コス大の展示



学級展示



※昨年ともそうでしたが、展示作品を鑑賞しているときに、ある失敗談が蘇ってきました。中学校で、生徒と一緒に学級展示の準備をしている中で、絵画の作品を踏みつけ、汚してしまい、ほぼ全員から非難を受けた経験です。言い訳をせずにひたすら謝りました。

※1年生の担任の肖像画は、特徴を捉えて、大変上手に描けていました。すべて傑作です。



■秋桜祭の2日目に、丸子コスモス大学の修業式を行いました。今までの活動の様子だけではなく、展示作品やステージでの発表、学習カードの内容から、どの講座も生徒の皆さん一人一人にとって、将来に生きる体験的な学びになったことを実感しています。講師の先生方と楽しそうに活動している生徒の姿が微笑ましかったです。修業式でもお話ししましたが、生徒の皆さんにはコスモス大学で学んだことを、さらに自分で深く学んでいたり、地域の行事に積極的に参加して広く学んだりして、これからの社会を生き抜く力を身につけ、高めていってほしいと思っています。

お忙しい中にも関わらず、本校の生徒のために、長い期間にわたって熱心にご指導いただきました講師の先生方には心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

■2日目の午後は、「青春の集い」(選抜チャレンジレー・青春の玉入れ・綱引き弾・みんなでジャンプ)を行いました。昨年は前日の雨でグラウンドコンディションが悪く、水たまりやぬかるみを整備するのに苦労しましたが、今年は良好な天候の中で行うことができよかったです。

私は一緒に参加したい気持ちを抑えながら、生徒の頑張りに声援を送ることに徹していました。各種目で、学級や縦割り学級の仲間が力を合わせ、声を掛け合いながら競技する様子が目に焼き付いています。どの種目にも全力で臨んでいる姿に美しさと力強さを感じ、また、その姿に確かな「青春」を感じることができました。どの種目でも、練習の時よりも成績が上回った学級が多くあったことは、今までの限界を超えられた生徒も多かったということです。素晴らしいという言葉に尽きます。

※生徒主体の競技でも、職員も参加できるレクリエーション的な種目があると、もっと盛り上がるのではないかなと思いました。

■閉祭式のセレモニーでは、ゲームキャラに扮した生徒会役員が、ストーリーを完結させる演出を行いました。コインを手に入れることで、ゲームキャラのメンバーが元の世界に戻れることになるのですが、どこでどのようにコインを手に入れたのかは未だ私の中では謎のままです。しかしながら、最初から最後までストーリー展開はよく考えられていて、素晴らしいと思いました。閉祭式では、生徒会長が2日間の秋桜祭を振り返り、全校生徒一人一人の輝く様子を交えながら話をしてくれました。まさに、それぞれの個性が発揮される、笑いと感動にあふれた2日間の秋桜祭でした。私は、生徒全員が今までの自分の限界を超え、伝説を超えられたと思っています。今までの全校の中心になって頑張ってくれた生徒会役員の皆さん、秋桜祭大成功、誠におめでとうございました。そして、大変、お疲れ様でした。全校の皆さんも、様々な場面で力を発揮してくれて、ありがとうございました。

少林寺拳法講座



茶道講座



演劇講座



コス大修業式



感謝状の贈呈



青春の玉入れ



チャレンジレー



綱引き弾



みんなでジャンプ



生徒会長の挨拶



表彰式



演出のフィナーレ



閉会宣言

